

【JIC】 モンスーンによる大雨と学生の安全対応について

本日は、現地の気象状況および学生の皆様への安全対応について、最新情報をご共有させていただきます。

現在、ルソン島ではモンスーンの影響により再び大雨が続いており、一部地域では道路の冠水や交通規制、渋滞などが発生しております。

この状況を受け、当校では学生の皆様に対し、不要不急の外出を控え、可能な限り校内で安全にお過ごしいただくよう案内しております。

なお、本日は祝日でございますので、校内では朝・昼・晩の3食を通常通り提供しております。

また、万が一停電が発生した場合にも、発電機を稼働できる体制を整えておりますので、校内での生活についてはどうぞご安心ください。

現時点では、バギオ市内の天候は比較的落ち着いております。一方、マニラからバギオへ向かう一部の高速道路では冠水の影響が出ており、交通渋滞が発生しているとの情報があります。

また、クラークやアンヘルズのあるパンパンガ地域においても、一部で洪水が発生している状況と聞いています。

バギオでは本日まで4連休であったため、休暇を利用して市外へ旅行している学生も複数名おります。

そのため、現在マニラ方面などからバギオへ戻っている学生については、何よりも安全を最優先とし、道路状況によっては無理に移動せず、必要に応じて現地で一泊するよう案内しております。

また、交通状況の影響を受けている学生については、特例措置として門限を解除し、通常の門限を過ぎて帰校した場合でもペナルティを課さない対応といたします。

当校スタッフも、学生からの連絡や緊急時の対応に迅速に動けるよう体制を整え、引き続き安全確保とサポートに努めてまいります。

今年は例年と比較してモンスーンの影響が強く感じられますが、今後も現地の気象情報・道路状況を注視しながら、必要に応じて迅速に対応してまいります。

一日も早く天候が落ち着き、通常の生活に戻ることを願っております。

以上、現地の状況および当校の対応についてのご報告とさせていただきます。

引き続き、学生の皆様の安全を最優先に対応してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。